議会常任委員会のしくみとその仕事　建設常任委員会

人のあつまる市政を　道は市政の顔

さきに議会の総務常任委員会のもっている役割りといったものについて、総務委員の方たちとはなし合いをもち紹介しましたが、こんどは、建設常任委員会について、スポットを当ててみました。

▼土木や水道のしごとは、市民の生活に直接むすびついており、陳情や請願の数が多い。市道をよくし、役立つ道路にするために道路公団といったものを作ってはどうかと考えていたが、市では道路公団はつくれないとのことでがっかりしている。

▼市民からの要望は多いが、すべての要望にそえないのが現状で、どうしても突き当るところは財政となり、独自の仕事はほとんどできない。

そこで失対事業や、国、県の事業におんぶしてやってもらっているが[illegible]いせいで、市全体の道路は荒れている。

▼[illegible]がなくてもやれる方法といったものをいろいろ考えてはいるが、そう都合よくあるものではない。

ともかく金を食う委員会であり、市民とは密接なつながりのある公共性の仕事ばかりだが、財政需要の問題で市民に十分こたえることはできない。といって手をこまねいていることもできないので、むしろ市でやらなければならないことでも国や県に依存し、国や県への突きあげてすこしでもよくなることとのつながりを求めている。

▼道路は県政の顔であるといわれるように〝市道は市政のカンバンであり顔である〟道をみればその市の行財政の力がわかるといわれている。

▼河川についても委員会の分野にあるが、河川はむしろ直接の関係ではなく県、国と、土地改良区が管理しているもので、間接的なつながりをもっている。

▼道は拡幅されて前よりはよくなっているが、利用が激しく荒されている。ゆくゆくは農道も市道にするように市長とタイアップして建設面につとめ、末端への浸透をはかってゆきたい。

建設常任委員

委員長	高維寿重一重継治
	栄正幸清武幸熊
副委員長	原内岡崎村口谷居
委員	岩島松山沢野大上
〃	
〃	
〃	
〃	

都市計画は明後年に実施へ

▼都市計画は、特別委員会でやっているが、建設委員会としても配慮している。相当遅れているので早く実施するようにしなければならない。

▼合併後七年になるというのにまだできないことはいろいろな面で障害となり不利なことになっている。家は野放しで建っており、[illegible]なっている。このまま[illegible]計画的な[illegible]い。

▼だからといってそれを制限することは現状ではできない。都市計画ができ、その指定を受ける[illegible]施までの二年以内であれば制限ができることになっ[illegible]い。

▼建設省に依頼して[illegible]マスタープランは一応できたが、現在その修正をしていて、ことし[illegible]にはできあがることになっている。明年三月頃までに内部の協議をし、五月頃に計画案を国へ提出し指定を受け、九月頃に実施計画書をつくり、四十三年からの実施目標ですすんでいる。

▼都市計画はバイパス道路とのつながりが深い。とくに百九十五号線の五十五号線とバイパス[illegible]の接続が一番の要になってきており、街路にもってくることは好ましくない意見などもあり、まだ正式に決まっていない。

職業化された失対

▼失対事業は仕事しているか、していないようだという批判があるが、市だけの[illegible]にも問題がある。

もともと失対[illegible]めできたもので、[illegible]であった。その当時の[illegible]縛している。

▼[illegible]四十年頃は働く職[illegible]め、働く意欲のある[illegible]業につくまでの臨時[illegible]であったが、いまではあたか[illegible]対を本職と考え、職[illegible]傾向になっている。そこで[illegible]や他の公共事業への就労[illegible]すすめているが、他へ就労するものがないのが現状である。

▼就労状態については他のものへの悪影響もあり、なんとかしなければならない段階になっている。十市や久礼田などに失対ができた当時は、成績もよく働き振りもよかったものだ。

▼失対にも組合組織がつくられており、これぐらいの仕事でこれぐらいの労働でよいということにしている。就労状態については県の方から正常にしてほしい、比較的市の方は仕事をしている。

▼大きな組織力にたよっているようだが、よいことと悪いことを考え判断して行動をしてほしい。まじめさをとりもどしてもらいたい。

悩みの大きい水道料金

▼水道は特別会計でまかない、現在五百万円の赤字となっている。あくまでも独立採算制であるので一般会計からの補てんはできない。

赤字の原因は漏水など施設に問題もあるようだが、水道料金の安いことに一番の原因がある。一立方のコストが三十円ほどのものを十八円で給水しており、赤字となる原因になっている。正常な料金に直し、採算のとれるものにしたい。

▼水道の新規施設については一般会計から支出しているが、給水後は利用者負担によって運営がされている。建設課は仕事の幅も広いので、独立した課制にすべきだ。また水道については根本的に検討すべき時期でもある。幸い大篠に給水施設ができたので市の中心部におけるこれまでのような渇水問題は解消された。

▼現在市では後免、稲生、久礼田それに大篠と四つの施設があり給水をしている。家庭での新設、改良工事は、市の指定店でやらせることにしている。

建設常任委員会のしごと

建設常任委員会の仕事は、名の示すように建設に関したことがらについて審議するもので、委員の定数は八人です。

この委員会の所管となっていることがらは、

道路、橋梁、港湾、河川その他土木に関したこと。

海岸の保全に関すること。

市民が待望している都市計画に関すること。

市有建築物の建設、営繕に関すること。

失業対策事業に関すること。

簡易水道、下水道に関することなどのしごとに当っています。

▼市の発展を図るには、まず道と、水の問題がある。それをよくするための土木費は旧村当時にくらべて大幅に減少している。そのため幹線重点主義でやっており、末端へ手が廻りかねているのが現状となっている。

なくてはならぬ用地と水

▼土木費は市予算の三・五%から五・〇%ぐらいで、産業経済費などとともに事業費に対する割合が全体的に少ない。それは人件費の増大と、生活や医療扶助費への出費によって圧迫を受けている。とくに人件費はいままで市税で十分まかなうことができていたが、それができなくなっている。予算は市全体の問題であり、財政再建がまず第一となっている。

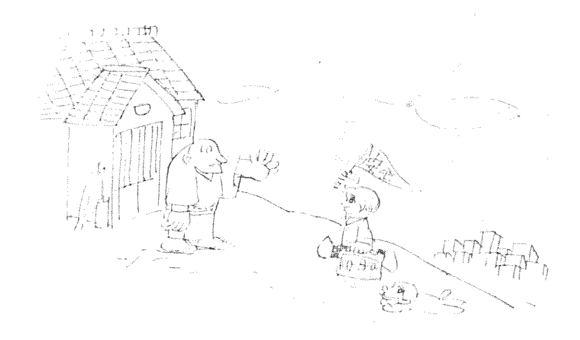
▼市の行政を孤立化せずに、県や国の行政のなかへくみ込んでやる行政をやり、国の方針や考えていることを取り入れてゆくことが、財政面へのテコ入れともなるだろう。

▼工場や総合グラウンドなど市を発展させるための施設は、どん欲なまでも誘致するようにしなければならない。

それには市民の協力が必要となってくる。とくに用地については大乗的見地に立ってもらいたい。

▼野市町にできた青少年の家は町当局よりもむしろ地元民が率先して誘致し、土地を提供したものであって、ともかく用地の確保が先決問題である。

▼ともかく人のあつまる行政を考えなくてはならない。市民が減少することでは市の将来もないので、人口を増すことが大切だ。工場誘致はそれがかなえられ、そのものの税金も大きい。将来は住宅団地としても栄える余地もある。そのためには道をよくし、水を確保するようにしたい。



黄色の旗を持ち帰らないでください

成人式

華美な服装でなく普段着で

来春新に成人となられる六百二十人を迎えて行なわれますが、十二月一日現在で調査したもので招待状が出されますので、その後に転入された方、また招待漏れの方でも、当日に受け付けますのでご遠慮なくご出席ください。

とき　1月15日午前9時30分

ところ　香長中学校体育館